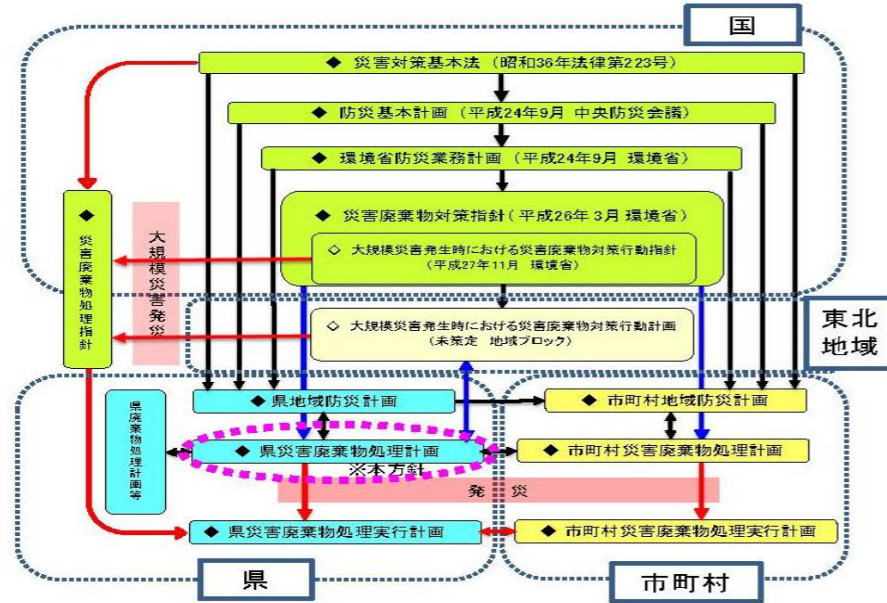


八幡平市災害廃棄物処理計画の概要

1 計画の目的

全国各地で発生した災害に伴う廃棄物処理の経験を踏まえ、今後発生が予想される各種自然災害への平時の備え、災害時に発生する廃棄物（以下、「災害廃棄物」という。）を適正かつ円滑・迅速に処理するための応急対策、復旧・復興対策について、基本的事項を整理した。

【計画の体系】



2 災害の想定

火山災害については同計画と別に、国、岩手県、周辺市町村及び学識者からなる岩手山火山災害対策検討委員会が監修した岩手山火山防災ガイドラインにおいて、基本的な対応を定めていることから、対象とする災害は、八幡平市地域防災計画に想定する水害及び地震災害とした。

3 災害廃棄物対策

(1) 初動段階

八幡平市地域防災計画に定める組織体制を基本に、避難所の設置に伴うし尿及び避難所ごみの発生量を予測し、処理、対応手順を定めた。なお、計画における想定災害規模は、阪神・淡路大震災時の神戸市を参考に推計している。

【協力・支援要請】

協定等名称	協力・支援の概要	相手
大規模災害時における岩手県市町村相互応援に関する協定	八幡平市地域防災計画協定編P401第4条（応援の種類）	県内市町村
災害時における応急対策業務に関する協定	八幡平市地域防災計画協定編P430第4条（建設資機材等の提供）	八幡平市建設協同組合
災害時における廃棄物の処理等に関する協定	協定書第3条（協力要請）	岩手県産業資源循環協会
災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定書	協定書第3条（協力要請）	レンタルのニッケン盛岡営業所

【仮設トイレ必要数の推計及び処理量】最大避難者数 26,355 人×15.6%≒4,100 人

避難者数	仮設トイレ必要数	し尿収集必要量
4,100 人	53 基	24,600 リットル/日

【避難所ごみの発生量の推計】

避難者数	避難所ごみの発生量
4,100 人	3.13 トン/日

(2) 応急段階

災害に伴い発生した災害ごみについて、その処理量を推計している。また、災害ごみの処理に欠かせない仮置場の必要面積を算定し、市内における仮置場の候補地として市有地 11 箇所を選定するとともに、災害廃棄物の処理手順を定めている。本計画どおりに進めるため、必要に応じてより具体的な災害廃棄物処理実行計画を作成する。

【災害ごみ仮置場の必要面積】

算定値 (m ²)	可燃系廃棄物 (m ²)	不燃系廃棄物 (m ²)	コンクリートがら (m ²)	金属 (m ²)	柱・角材 (m ²)
32,596	2,608	9,127	18,905	978	978

【災害廃棄物の発生量】全壊（10.6%）999 棟、半壊（8.5%）801 棟

推計量 (t)	可燃系廃棄物 (t)	不燃系廃棄物 (t)	コンクリートがら (t)	金属 (t)	柱・角材 (t)
186,471	14,918	52,212	108,153	5,594	5,594

【災害ごみ仮置場の候補地】

所在地 (地区)	候補地名称	想定面積	管理者	利用方法		避難場所
				一次	二次	
西根・大更	旧渋川小学校校庭	3,100 m ²	八幡平市	○		×
西根・大更	市総合運動公園駐車場	13,000 m ²	八幡平市	○		×
西根・田頭	三ツ森グラウンド	32,000 m ²	八幡平市	○	○	×
西根・平館	旧学校給食センター	4,000 m ²	八幡平市	○		×
松尾・野駄	清掃センター駐車場	2,600 m ²	八幡平市	○	○	×
松尾・野駄	旧松尾総合支所	9,900 m ²	八幡平市	○	○	×
松尾・柏台	さくら公園イベント広場駐車場	14,000 m ²	八幡平市 (森林管理署)	○		×
安代・荒沢	旧細野小学校	12,000 m ²	八幡平市	○	○	×
安代・荒沢	安代グラウンド	10,600 m ²	八幡平市	○		×
安代・田山	旧田山中学校校庭	7,000 m ²	八幡平市	○		×
安代・田山	田山グラウンド	24,500 m ²	八幡平市	○		○

※面積は統合型GISシステムの実測で、余裕を持って面積を計上している。

(3) 復旧段階

発災から数週間から数か月後に想定される損壊家屋の解体撤去、災害ごみの最終処分などについて、定めている。